

耳鳴りとは

～突発性難聴・メニエール病・加齢性難聴など～

健康通信

常陸大宮済生会病院

副院長

小島 正幸先生

成人の10 - 15%が何らかの耳鳴りを経験していると言われています。

耳鳴りとは、外部からの音がないにも関わらず、音感が生じる異常な聴感覚と定義され、幻聴とは異なります。また、他覚的耳鳴りと自覚的耳鳴りに分類されます。

他覚的耳鳴り	耳周囲の血管拍動や筋肉の痙攣 ^{けいれん} によって生じるもので、他人でも音を聴取できるもの。
自覚的耳鳴り	他人が聴取できないもの。内耳などの聴覚路のいずれかの部位に生じた異常興奮であると考えられている。

耳鳴りを訴える方のほとんどが自覚的耳鳴りです。以下、自覚的耳鳴りについて説明します。

耳鳴りを持っている方の80-90%に何らかの難聴があり、難聴の約50%の方が耳鳴りを合併していると言われています。突然始まるものには、突発性難聴、メニエール病、急性音響性難聴*1などに伴うものがあります。いつ始まったか分からないが気が付いたら耳鳴りがあるというものに、加齢性難聴・薬剤性難聴などに伴うものがあります。

耳鳴りの治療は、原因となる病気の治療以外に、薬物療法などがありますが、耳鳴りが完全に消失するような薬物はまだありません。

最近の治療法に、TRT（Tinnitus Retraining Therapy）＜耳鳴り再訓練療法＞があります。これは耳鳴りを消失させるのが目的ではなく、耳鳴りに対する苦痛を軽減させる治療法です。指示的カウンセリングと音響療法を組み合わせた治療法で、治療した方の80%に何らかの耳鳴りの改善がみられると報告されています。この治療を実施している病院は限られています。茨城県内ではまだありませんが、都内では、順天堂大学付属順天堂医院、慶應義塾大学病院、日本大学医学部附属板橋病院、東京医科歯科大学病院などの耳鼻咽喉科で行われています。



*1 急性音響性難聴

ライブハウスやヘッドホンで大きな音を聞いた後などに起こる難聴で、耳鳴りを伴います。繰り返していると、完全に治らない場合もありますので注意してください。